吉祥果

円頓寺だより

令和４年
１２月号
【吉祥果 386 号】

今年最後の年中行事のお会式も無事に済ませることができました。感謝申し上げます。

さて、私ごとですが、今から十五年ほど前、先輩が体調不良のため名古屋拘置所の教誨師を辞任されたのを受け、私が次期教誨師に推挙されました。時期尚早と思いましたが、前任者の強い希望だとお聞きしたので、お受けすることにしました。

教誨師とは刑務所、拘置所、少年院といった施設に収容されている人たちの更生のために、宗教教誨を行うボランティアです。宗教教誨とは受刑者に罪を悔い改めさせるために、道徳的なことや宗教の教えを説き、時には収容者の縁ある故人の供養を行ったり、相談にのったりすることを職務としています。

お受けした当時、私は四十代半ばで、名古屋の教誨師としては一番若い年齢でした。時は流れ、私も還暦。今年、拘置所教誨師会の副会長に就任し、愛知県教誨師会の理事を務めることになりました。

教誨師は全国にいますので年に一度、研修を兼ねて全国大会が催されます。今年はコロナ感染も少し収まりつつあるということで、全国大会が四年ぶりに仙台で行われることになりました。私も理事に就任して初めての大会ですので参加させていただくことにしました。仙台まで行くのだからと、中学一年生が終わると転校してしまった友人に連絡を取ってみたら、会おうということになり、四十八年ぶりに会うことになりました。

そもそも彼との縁は小学四年生の時。クラス替えで座った席が前後になったのが始まり。小柄でサラサラ髪の彼は「ねえ、シオ…」と甲高い声で話が始まり、話し出すと止まらない、小気味よいマシンガントークのとても面白い少年というのが当時の印象です。

半世紀近い時を経て駅前に現れた彼は、一八〇センチを超える長身で、頭髪は白髪交じり。全く違う男性になっていました。現在は医師ということで風格さえ感じました。「久しぶり」の声とともに、ほほ笑んだ顔を見て、あの頃の面影が残っていてひと安心。

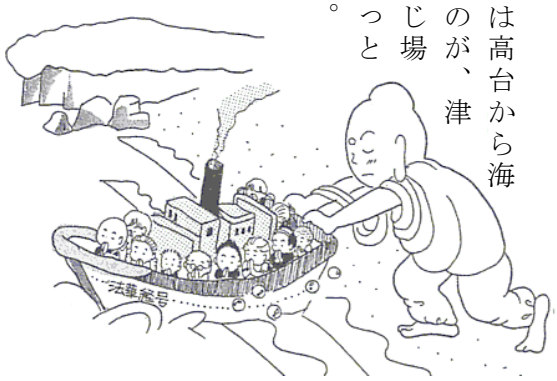
「どこ行こうか？」と雑談しながら店を探し始めているとき、「それにしても震災で大変だったんだろ？」と話を振ると、当時と変わらないマシンガントークが始まりました。駅の東側が海側にあたり、そちらに繁華街があったのが、街ごと津波で流されて、現在は海から離れ

教誨の様子

た西側に街が移ったこと。震災前には高台から海岸が見えないほど建物がたっていたのが、津波に流され、十一年たった今でも同じ場所に建物を建てられず、震災以降ずっと海岸が見える状態だということなど。震災当時の話をしてくれました。

そして「でもね、日本はすごい国だよ」といい、停電で信号が用をなさない状態で、警察官もいない。でもお互いに道を譲りあって交互に通行し、事故が起こらなかったこと。食料品や日用品にも事欠く日々が続き、ようやく再開されたのがコンビニ。しかし店舗に並ぶ品数では限られており、到底必要な品数には及ばない。誰先にと飛びつきたくなる状態であったのに、整列して自分の必要分しか買わず、買い占める人がいなかったこと。みんなが我慢し、不服も言わずに生活していたこと。そんな震災で感動した出来事を熱く語る彼は、小学生の時に昆虫の話をしていた彼と何ら変わりませんでした。

そんな震災当時の話から、現在の話、趣味の話、共通の友人の話など、食事をしながら話をして、気が付けば五時間がたっていました。楽しい時を共有し、名古屋での再会を誓って別れました。



次の日の研修を終え、同じ施設の他宗の教誨師さんと一緒に帰路につきました。新幹線に乗るとその方が

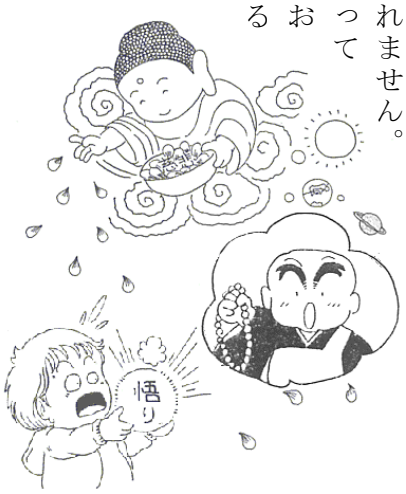
「塩田さんと一緒でよかった。実は行きの東京駅で東北新幹線への乗り換えがわからなかったんで、駅員さんに尋ねたんだよ。そうしたら『まっすぐ行って看板が出ているから、そこを看板通りに右に行けば乗り換えの改札だから』っていわれたんだ。だけど、私は視野が狭くなる病気だから、どこに看板があるのかわからなくて迷っちゃたんだよ」

と。私はその方の目が不自由なことに全く気づいていなかったので驚きました。

震災後のコンビニ、停電の交差点。多くの人は今どういう状況におかれているか理解できたから、分かり合えているからこそ譲り合えたのではないでしょうか？駅員さんも「乗り換え口がわからない」という男性の目が見えないとは思いもよらなかったことでしょう。全く見えなければ杖を持っているから気づいたかもしれません。しかし見えにくい、聞こえにくいという状態は、わかりづらいことです。駅員さんにほんの少しの気遣いがあれば結果は違っていたかもしれません。

もしかしたらの思いを持って接することができれば、なお一層素晴らしい世の中になるんじゃないでしょうか。

いろいろ考えさせられる研修でした。



〈小松原法難〉二十九

日蓮大聖人の母の蘇生の噂を聞いた天津の城主、工藤吉隆。是非大聖人のお話を聞いて、帰依したいとお申し出になりましたので文永元年十一月十一日、大聖人はお弟子と信者計十数人で天津へ向かいました。

この地は大聖人の出生の地であり、修行された清澄寺、立教開宗の地でもあります。同時にこの地の地頭は大聖人を清澄寺より追い払った東条景信で、熱心な念仏信仰者であります。景信は大聖人こそ仏敵と命を狙っております。そこに大聖人が伴も手薄に天津へ向かうという情報が入りました。そこで景信は家来百余人を連れ立って、大聖人を討たんと、松原にて待ち伏せをしております。

何もご存じない大聖人一行が小松原にさしかかりますと一斉に人馬の物音。無数の矢が射られ、打つ太刀は稲妻のごとし。大聖人のまわりを取り囲んだ東条景信の一群。大聖人のお伴に武家はおりません。ただ力自慢の鏡忍坊がいるばかり。鏡忍坊は松の木を根こそぎに倒し、大勢の中に割って入り、縦横無尽に働く、といっても多勢に無勢。力尽き、切られ、最後の一太刀が右の方から袈裟切りに…。鏡忍坊そこに打ち倒れました。

「建長以来の敵、日蓮何処にありや」

馬上より、大聖人を探しております東条景信。太刀を引き抜き、大聖人めがけて

「日蓮、覚悟せよ」

と切り付けてまいります。大聖人は数珠をもって払いの九字を切り、そこへ景信の切っ先が…。大聖人の数珠の親珠に当たりプッツリ割れて、その太刀は眉間にあたり血が噴き出しました。その時、虚空に現われたのは鬼子母大善神。善神は景信をにらみ、景信は仕損じたと大上段に太刀を構えます。その刀を降り下ろそうとその時に、虚空に響く大音声。景信の眼眩んで、ドオッと馬より落ちて正気を失いました。

その頃、大聖人のご到着を待っております工藤吉隆の所へ東条景信の襲撃の一報。すぐさま小松原へと駆け付けました。多勢に無勢にて吉隆も打ち倒されました。

大聖人は傷を衣で押さえ、彼方をみれば東条景信は倒れております。大将が倒され家臣は帰っていきました。辺りを見回せば鏡忍坊が血に染まって倒れております。大聖人近寄って名を呼べども、すでに息絶えております。

「鏡忍坊日暁上人、増円妙道」

大聖人涙ながらに、ご回向なさいました。彼方には工藤吉隆が倒れています。虫の息の吉隆に近寄りますと

「大聖人ご無事で何より。身代わりになれて幸いです。心に残るは、臨月の妻。男の子が生まれましたら日蓮殿のお弟子に加えていただきたく存じます」

「何を吉隆殿。今より御身も我が弟子、今日より妙隆院日玉上人。増円妙道」

尊いお二人の殉教により、大聖人は一命をとり遂げられました。

十二月の当山行事予定

荒天・葬儀等の場合やむなく変更することもあります。

※鬼子母神様ご祭礼

十二月十八日(日)

午後一時半より 読経 法楽加持

【合格祈願等 受け付けます】

※年末墓参のお知らせ

今年最後の墓参。当山平和公園墓地にて

十二月二十九日(木) 午前十時より正午まで

★ご回向希望者は当日電話にてご確認ください。

家の大掃除とともに、お墓のお掃除をして、先祖様ともども新年をお迎えください。

〒451-0042

名古屋市西区那古野１－１１－７

長久山　円頓寺

Tel　０５２（５５１）３７６８

Fax　０５２（５５１）３７６９

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://endonji.web.fc2.com/

E-mail　shiota.houyuu@gmail.com

円頓寺　検索

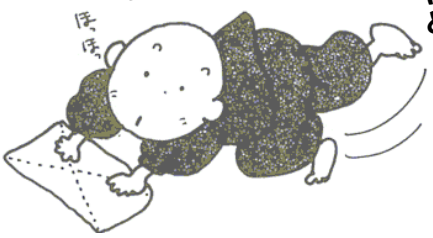
【E-mail は、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを経由にても送れます】

【銀行振込】三菱 UFJ 銀行　名古屋駅前支店

店番号 221 総合 口座番号 1381434　(宗)円頓寺

【郵便振替】12170　3765501　(宗)円頓寺

みんなで掃除するのは楽しいけれど、ひとりだけでは愚痴が出ます。「何で俺だけ掃除させられるんだ」と。けどきれいになればすがすがしい！すべてに感謝。この一年に感謝。



一月の当山行事予定

※新年祝祷会

元日　午後一時より

☆コロナ感染状況により中止の場合もあります。参加希望の方は年末二十五日～三十日にご連絡ください。

※鬼子母神様大祭

一月十八日(水) 午後一時半より

☆行事参加者は、マスク着用をお願いします

☆星祭り祈願　受付中

一年の息災を妙見様に寒中祈願するのが星祭りです。星祭りは妙見様信仰の証。お祀りしてあるお檀家さんは是非お受けください。生年月日による各自の運気は毎年星の巡りによって変わります。良い巡り合わせも悪い時もあります。各自が星のお守を持つことで、幸いを招き・災いを免れることができます。

お守を希望の方は、氏名 生年月日を添えて今年中にお申し込みください。星祭で開運祈願をしましょう！

【一人千円以上、一家族で三千円以上】

☆六三除け祈願　受付中

あなたの年回りによって因縁付けられた病気が、それぞれに降り掛かるといいます。その悪い因縁を断ち切るご祈祷が六三除けです。原因不明の病気、不治の病、検査に表れない病等はこの因縁による病だといわれます。息災延命のご祈願においでください。